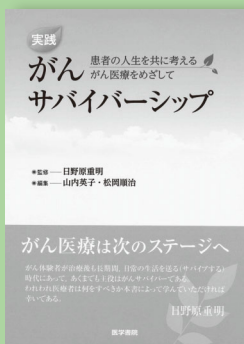


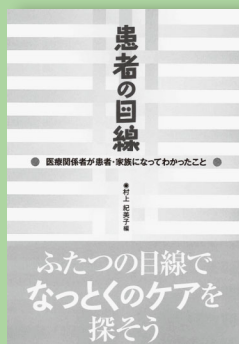
今月の 新刊紹介



実践 がんサバイバーシップ 患者の人生を共に考える がん医療をめざして

監修：日野重明
編集：山内英子／松岡順治
定価：本体 3500 円＋税
医学書院

がん治療の発展に伴い、医療者にはがん患者の人生を共に考え、その希望を医療に組み入れて実践することが求められるようになった。各職種に求められるサバイバーへの関わり方、患者会の活動などを、経験豊富な医療者、当事者、関係者が解説する。



患者の目線 医療関係者が患者・家族になって わかったこと

編：村上紀美子
定価：1800 円＋税
医学書院

医療関係者が「患者・家族」となったときに、「自分ならどう選択するか」と考えることで初めて可能になるケアがある。2013 年 12 月号まで弊社で掲載されていた人気シリーズ「患者の目線」に、全篇大幅加筆とコメント「この経験から学ぶ」を加えてまとめた 1 冊。



《シリーズ ケアをひらく》 カウンセラーは 何を見ているか

著：信田さよ子
定価：2000 円＋税
医学書院

精神科病院での勤務経験を経て、開業カウンセラーの第一人者になった著者が、「見て」「聞いて」「引き受けて」「踏み込む」ノウハウを一挙公開！ 思わず引き込まれるエピソードと共に、カウンセラーという職業の深層に何があるのかを読み解く。



産後ケア なぜ必要か 何ができるか

著：福島富士子／みつひひろみ
定価：本体 520 円＋税
岩波書店

人間関係の希薄化が進む中、孤立しがちな出産直後の母親たちは、心身ともに不安定になる。助産師や保健師、産後ヘルパーは彼女たちをどう支えるか、「産後ケアセンター」の開設からどのような可能性が開けるかなど、支援する側、される側の声を集める。



病から詩がうまれる 看取り医がみた幸せと悲哀

著：大井玄
定価：本体 1300 円＋税
朝日新聞出版

病を表現した古今東西の詩歌、そして病める患者、死を見つめる医療者が詠む詩歌には、病に関わる人々の心を支える力がある。臨床医として終末期医療全般に関わってきた著者が、患者に寄り添う中で見た人生の真実を、詩歌を通して軽妙に綴ったエッセイ。



マンガでやさしくわかる メンタルヘルス

著：武藤清栄
シナリオ：永山たか 作画：椎名
定価：本体 1500 円＋税
日本能率協会マネジメントセンター

身近に起こりうる心の病、多くの人が抱く悩みを、バーに集う人たちが織りなす 6 つのストーリー漫画で描き出す。多くのカウンセリングに関わってきた武藤氏による詳しい解説を読むことで、楽しみながらメンタルヘルスの基本を学ぶことができる。